

茨城県北茨城市ふるさと納税

～寄附金の使い道と寄附金活用事業のご報告～

ふるさと納税を通じた温かいご支援、本当にありがとうございました。
皆様からいただいたご寄附は北茨城市の活性化のために大切に活用させていただきます。

令和5年度

寄附件数 : 6,513件
寄附金総額 : 135,250,661円

① ふるさとの教育又は文化の振興に関する事業	24,477,984円
② ふるさとの福祉又は少子化対策に関する事業	11,211,500円
③ ふるさとの自然環境の保全に関する事業	9,391,000円
④ ふるさとの産業の振興に関する事業	4,446,000円
⑤ ふるさとの医療の充実に関する事業	5,339,000円
⑥ その他目的達成のために市長が必要と認める事業 (うち令和5年9月台風災害支援)	80,385,177円 (2,197,000円)

※ 災害支援代理寄附(上記金額除く)

活用事業について

- ① 小学校備品修繕(遊具)、教育一般管理用備品購入費(小学校)、教育一般管理用備品購入費(中学校学校)、図書館図書・視聴覚資料購入費 等
- ② 磯原子育て支援施設借上げ料、小学校入学祝記念品(ランドセル) 等
- ③ 浄化槽転換推進補助金、住宅用太陽光発電システム設置補助金等
- ④ 家族キャンプ村施設整備工事 等
- ⑤ ふるさとの医療の充実に関する事業 等
- ⑥ 外国語指導助手設置事業、観光スポットライトアップ事業、ヒロシマで学ぶ平和への旅事業 等

いただいた寄附金は、基金に積み立て、必要な事業に取崩して活用します。

令和5年度主な活用事業

18の事業にふるさと納税の寄附金を活用いたしました。その一部を紹介いたします。

① ふるさとの教育又は文化の振興に関する事業

小学校備品修繕事業

寄附金充当額：6,500,000円

市内小学校で、修繕が必要な備品や遊具等を修繕いたしました。



修繕した遊具の一例



② ふるさとの福祉又は少子化対策に関する事業

小学校入学祝い記念品（ランドセル）支給事業

寄附金充当額：7,000,000円

小学一年生になる児童に対して254個のランドセルを支給いたしました。ランドセルは4色あり、児童は一人ひとり気に入った色のランドセルを選択できます。



令和5年度主な活用事業

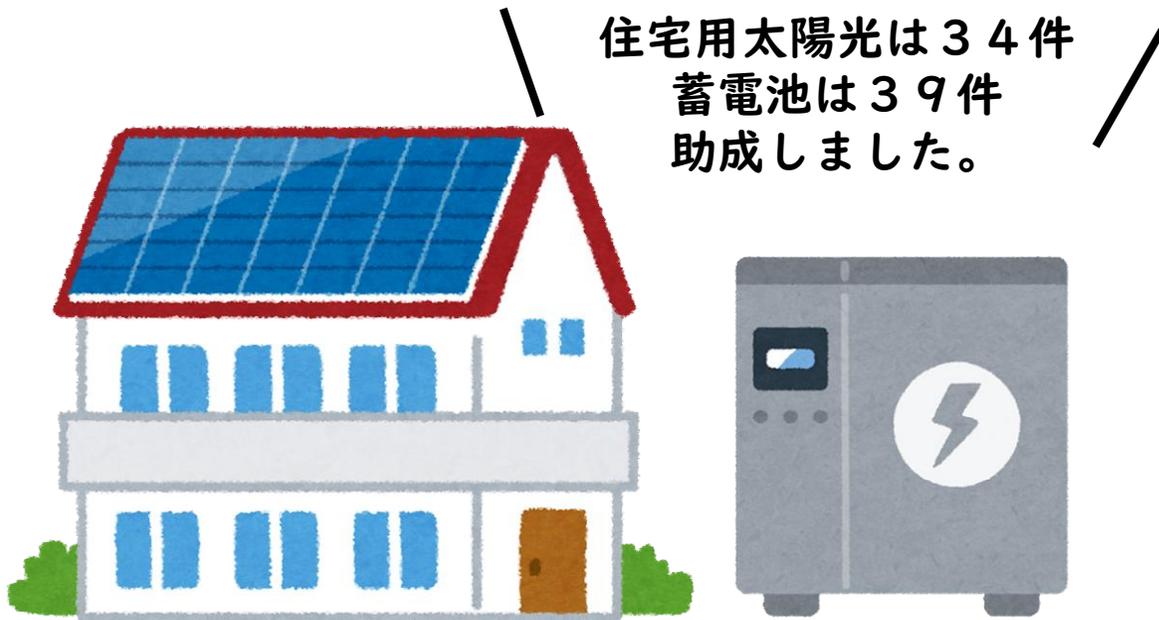
18の事業にふるさと納税の寄附金を活用いたしました。その一部を紹介いたします。

③ ふるさととの自然環境の保全に関する事業

住宅用太陽光発電システム設置補助金

寄附金充当額：1,700,000円

再生可能エネルギーの利用促進によって地球温暖化の原因である温室効果ガスの削減及び市民の環境意識の高揚を図るため、住宅用太陽光発電システム又は、蓄電システムを設置する方に設置費用の一部をふるさと納税の財源を活用して助成しました。



④ ふるさととの産業の振興に関する事業

家族キャンプ村施設整備工事

寄附金充当額：1,200,000円

北茨城市の山間部にある花園オートキャンプ場の老朽化による設備の工事や、令和5年9月台風による被害箇所の修繕を行いました。花園オートキャンプ場は茨城県県北地域のキャンプ場でも特に高評価をいただいております。※キャンプ予約サイト「なっぷ」より



台風により法面が崩れました。

修繕
いたしました。



令和5年度主な活用事業

18の事業にふるさと納税の寄附金を活用いたしました。その一部を紹介いたします。

⑤ ふるさとの医療の充実に関する事業

在宅当番医療制度事業

寄附金充当額：6,600,000円

休日における救急診療を行うために在宅当番医を実施し、地域住民の医療を確保するために実施いたしました。

12の医療機関が
71日1,339名の患者を
診療しました。



⑥ その他目的達成のために市長が必要と認める事業

外国語指導助手設置事業

寄附金充当額：21,648,000円

中学校外国語（英語）教育と小学校外国語活動等の授業に外国語指導助手（ALT）を年間175日派遣しました。



令和5年度主な活用事業

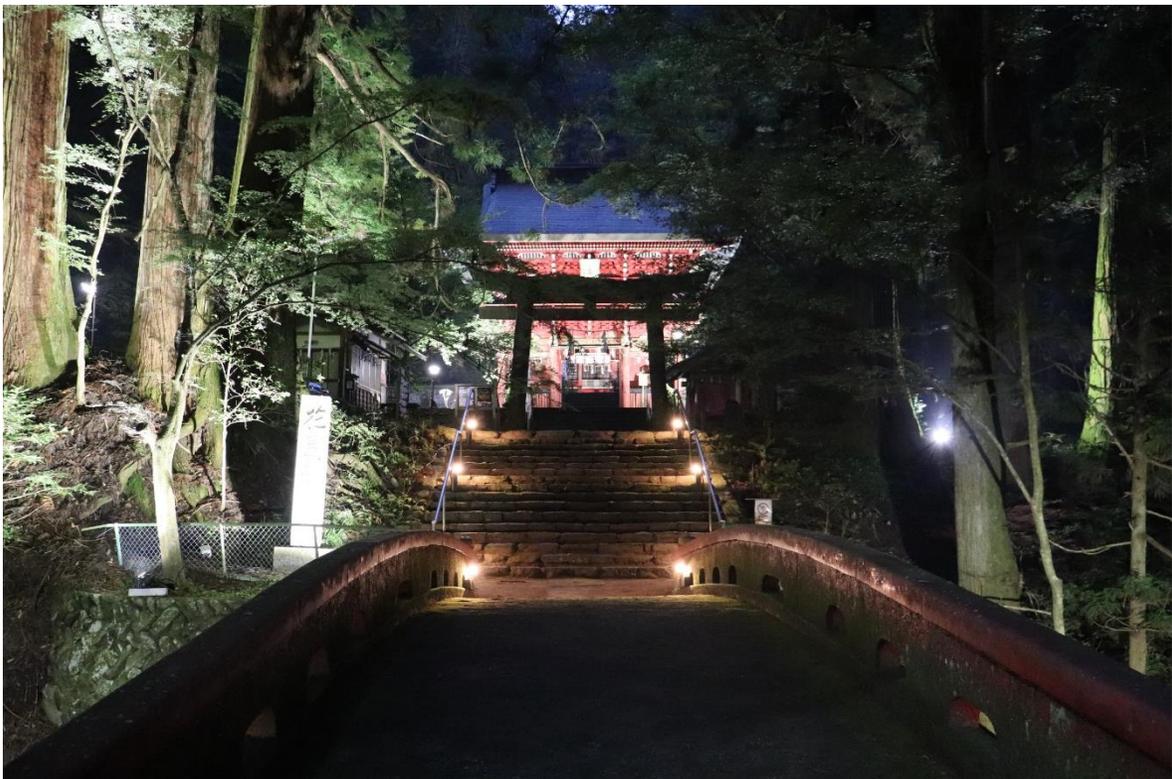
18の事業にふるさと納税の寄附金を活用いたしました。その一部を紹介いたします。

⑥ その他目的達成のために市長が必要と認める事業

観光スポットライトアップ事業

寄附金充当額：1,800,000円

市内観光地でもある花園神社の紅葉時期における夜間ライトアップを行いました。演歌歌手の木村徹二氏のミニコンサートも行われました。



ヒロシマで学ぶ平和への旅事業

寄附金充当額：5,202,000円

市内の小学生が原爆被害を受けた広島を訪れ、広島平和記念式典に参加して、原爆の恐ろしさや悲しみを伝える広島の声を聞くとともに、戦争と平和について考える機会を持つための体験をしました。



式典に参加しました。

